

GKP北海道総会 未来会活動紹介 講演会（令和元年6月3日）



GKP未来会

GKP北海道総会にて東京・関西・九州未来会の活動を紹介しました。66名の会員が参加し、「下水道業界に興味を持ってもらえる学生に響くワードを考えてみましょう！」というお題のワークショップを行い、会員どうして活発な議論が行われていました。参加者からは、多くの“気づき”を得られた、特にワークショップの趣向が面白かったとのお話をいただきました。

〔実施概要〕

イベント名：GKP北海道総会 講演

日時：2019年6月3日（月） 16時00分～17時00分（60分）

場所：札幌エルプラザ4F大研修室

対象：北海道GKP会員 66名

実施内容：GKP未来会の紹介、活動内容、成果、初期からの経験で感じたこと

ワークショップ：下水道業界に興味を持ってもらえる学生に響くワードを考えてみよう！

参加者：前澤工業株式会社



▲未来会の活動紹介



▲学生に響くワードについてディスカッション！



下水道は資源とエネルギーの宝庫！

水の惑星の主役になろう！



▲参加者全員にシェア！

様々な専門知識を生かせる！

水はエネルギー

環境リノベーション

GKP下水道を未来につなげる会 in大阪市立大学 (2019年7月22日)



GKP下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、令和元年7月22日に大阪市立大学工学研究科にて出前講座を行いました。貫上佳則教授にご依頼頂き、今回初めての開催となりました。

大学院1回生16名が参加し、下水道事業の水の循環、汚泥の循環の取り組みによってもたらされる地域貢献についてグループワークを行い、学生どうしで活発な議論が行われていました。

【実施概要】

講座名：特別演習（都市リサイクル工学I）内での下水道事業の紹介

日時：2019年7月22日（月） 15時15分～18時50分（210分（休憩除く））

場所：大阪市立大学 杉本キャンパス 工学部G棟 201教室

対象：大阪市立大学大学院1回生 16名

実施内容：GKP未来会の紹介、下水道の役割・職種の紹介

グループワーク（前半）：水の循環・汚泥の循環の地域貢献について

グループワーク（後半）：前半のフィードバック、ブラッシュアップ、発表

リレートーク（社会人とのフリートーク）、まとめ

参加団体：滋賀県、大阪市、京都市、堺市、クリアウォーターOSAKA、メタウォーター、ヴェオリア・ジェネッツ、西原環境、東亜グラウト工業、水ingエンジニアリング、神鋼環境ソリューション、日水コン、日本水工設計、極東技工コンサルタント、日本水道新聞社



▲GKP未来会の紹介



▲グループワークに熱が入る！▼



▲グループ発表



▲下水道事業の取組事例紹介



▲社会人とのフリートーク

（貫上教授の講評）

学部生時代の講義のよい復習になった。最初はグループワークがどのような形になるか不安もあったが、学生から活発に意見が出て非常に有意義なものだった。フィードバックを受けた後半の発表が前半の発表に比べ格段に良いものになっていたことに驚いた。

【下水道×謎解き】下水道クエスト（令和元年8月9日）

GKP下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、令和元年8月9日に下水道展'19横浜の会場内で謎解きイベントを行いました。

子どもから大人まで116名の参加者の方には、謎解きを行いながら各社のブースを回っていただきました。家族やグループで相談しながら謎解きに挑戦し、最後の謎が解けた時には笑顔が溢れていました。

【実施概要】

イベント名：【下水道×謎解き】下水道クエスト

日時：2019年8月9日（金） 10時00分～16時00分

場所：パシフィコ横浜（下水道展'19横浜会場内）

参加者：116名

実施内容：下水道に関する謎解きイベント、各社PR動画の上映・パンフレットの配布

参加団体：東亜グラウト工業、国土交通省、日水コン、メタウォーター、前澤工業、ヴェオリア・ジャパン、川崎市、NJS、極東技エコンサルタント、PwCアドバイザリー合同会社、日本水工設計、月島機械、日本下水道事業団、日本水道新聞社、水道産業新聞社



展示会場の手がかりを巡り、謎解きを行いました。最後の謎はちょっと難しかったかもしれません。



＜参加者の感想＞

謎解きと並行して、将来入るであろう水業界に関わる企業のブースを見て回ることができたので、とても勉強になりました。

普段あまり馴染みのない下水道について、想像以上に楽しく学ぶことができ、とてもいい経験になりました。

自分の自治体でも同様の下水道と謎解きがコラボしたゲームを開催してみたいと思いました。

GKP下水道を未来につなげる会 in 立命館大学（2019年10月24日）

GKP下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、令和元年10月24日に立命館大学にて出前講座を行いました。惣田訓教授にご依頼頂き、昨年に引き続き2回目の開催となりました。

大学生3年生、約60名が参加し、下水道事業の役割、業界の体制、エネルギー、海外貢献について説明した後、グループに分かれて未来会メンバーと学生で下水道について活発な議論が行われていました。

【実施概要】

講座名：「環境システム専門演習Ⅱ（卒業研究入門）」内での下水道事業の紹介

日時：2019年10月24日（木） 17時05分～17時50分（45分）

場所：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス F306（フォレストハウス）

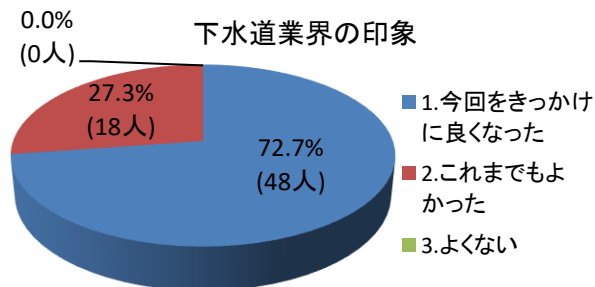
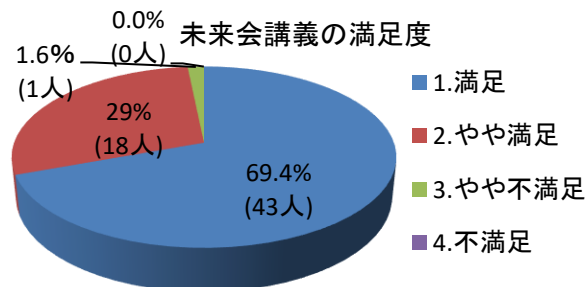
対象：立命館大学 大学3年生 計66人

実施内容：GKP未来会の紹介、下水道の役割・職種の紹介

グループワーク：リレートーク（社会人とのフリートーク）

参加団体：滋賀県、堺市、メタウォーター、ヴェオリア・ジェネッツ、西原環境、東亜グラウト工業、水ingエンジニアリング、神鋼環境ソリューション、前澤工業、日水コン、日本水工設計、極東技エコンサルタント、日本水道新聞社、水道産業新聞社

【学生アンケート結果の概要】



▲下水道事業の取組事例紹介



▲グループワークに熱が入る！



▲参加GKPメンバー

- ・GKP未来会の出前講座をきっかけに下水道業界に対する印象が良くなったという学生が多くみられました。
- ・グループワークでは、下水道業界の先輩である未来会メンバーと学生たちで下水道に対する熱い議論が交わされました。

埼玉県×GKP未来会 高校生ワークショップ（令和元年11月14日）

GKP下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、埼玉県下水道局・下水道公社と、荒川水循環センターで、高校生を対象としたワークショップを共催しました。

高校1・2年生及び保護者、先生の計11名が参加する中、処理場見学や、マンツーマンでの業務紹介などのプログラムを提供することで、下水道業界のアピールを行いました。

◆実施概要

- イベント名： 埼玉県×GKP未来会 高校生ワークショップ ～下水ビジネス、知ると広がる、将来の選択肢～
日 時： 2019年11月14日（月） 13時30分～16時30分（3時間）
場 所： 荒川水循環センター
対 象： 県内工業高校の生徒・保護者・先生 計11名（生徒7名、保護者2名、先生2名）
実施内容： 下水道の紹介、処理場見学、マンツーマンによる仕事紹介
参加団体： 埼玉県、埼玉県下水道公社、メタウォーター、前澤工業、前澤エンジニアリングサービス、東亜グラウト工業、日本水道新聞社



オリエンテーションとして
下水道の概要について紹介



処理場見学では、処理プロセスを紹介するとともに、
マンホール点検体験等を実施



参加者が質問しやすいよう、
マンツーマンで仕事紹介を実施

GKP下水道を未来につなげる会 in 龍谷大学 (2019年11月14日)

GKP下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、令和元年11月14日に龍谷大学にて出前講座を行いました。岸本教授、奥田准教授に御協力頂き、本校では初めての開催となりました。

大学生、大学院生、計15名が参加し、水の天使 西尾菜々美様から下水道の魅力を講演頂いた後、滋賀県における下水汚泥の有効利用についてグループワークを行い、学生どうしで活発な議論が行われていました。

【実施概要】

講座名：「環境施設設計演習」内での下水道事業の紹介

日時：2019年11月14日（木） 11時05分～13時00分（115分）

場所：龍谷大学 瀬田キャンパス RECホール 小ホール

対象：龍谷大学 大学3年生 大学院1年生 計15人

実施内容：GKP未来会の紹介、水の天使よりご講演「下水道の魅力」

下水道の役割・職種の紹介

グループワーク：「滋賀県の汚泥管理を考える」

企業説明会（ランチミーティング）

参加団体：滋賀県、堺市、メタウォーター、西原環境、東亜グラウト工業、水ingエンジニアリング、
神鋼環境ソリューション、日水コン、日本水工設計、極東技エコンサルタント、水道産業新聞社



▲岸本教授による開会挨拶



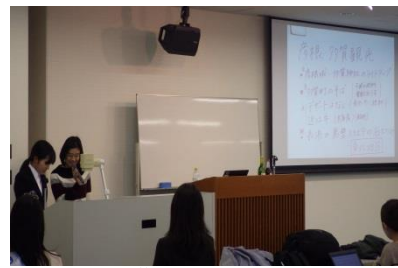
▲グループワークに熱が入る！



▲奥田准教授の講評



▲下水道事業の取組事例紹介



▲発表の様子



▲GKPメンバーと水の天使

＜水の天使より＞
同世代に、「下水道の魅力」を伝えることができ、大変貴重な時間となりました。

＜学生より＞
下水は「汚い」というイメージから、資源循環という新たな価値を知ることができ、イメージアップしました。

＜先生より＞
学生が自ら考える貴重な時間でした。来年もよろしくお願いします。

東京都市大学世田谷キャンパス 業界・仕事研究会（令和元年12月11日）

GKP下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、令和元年12月11日に東京都市大学世田谷キャンパスで業界・仕事研究会イベントを行いました。

参加者は主に都市大学3年生の機械、電気、化学、情報専攻の学生で、10名ほど下水道業界の説明に参加して頂きました。未来会の説明をはじめ、各社の下水道業界での立ち位置や仕事内容を興味深く聞いていました。

【実施概要】

イベント名：東京都市大学世田谷キャンパス 業界・仕事研究会

日時：2019年12月11日（水） 12時50分～17時10分（50分×4セット）

場所：東京都市大学 世田谷キャンパス1号館1階11A教室

対象：東京都市大学理工学部 学部3年生、大学院1年生

参加者：10名（機械、電気、化学、情報専攻）

実施内容：GKP未来会の紹介、下水道の役割、各職種のお仕事紹介、質疑応答

参加団体：東亜グラウト工業、メタウォーター、前澤工業、NJS、明電舎、日本水道新聞社



＜イベントの感想＞

今回で5回目の参加となる本イベントは、東京都市大学のイベント参加学生に下水道業界の存在、仕事内容を広報することを目的としている。学生は基本的に下水道業界のことを知らないため、質疑応答は逆質問も含めて行った。土木専攻の学生がいないイベントとなったが、過年度実施した同イベントに参加した学生が、現在下水道業界で働いていることが分かり、少なからず成果が出ているイベントであると感じた。

東京電機大学「インフラ・建設業界を知ろう」（令和元年12月11日）

GKP下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、令和元年12月11日に東京電機大学で行われた業界研究セミナーにて活動を行いました。

大学3年生と大学院1年生中心の約50名の学生が参加し、ブース訪問者にGKP未来会活動内容および具体的な仕事内容について説明し、参加学生より業界の繋がりや当時の志望動機や就職活動等について様々な質問が寄せられました。

〔実施概要〕

イベント名：東京電機大学「インフラ・建設業界を知ろう」

日時：2019年12月11日（水） 15時30分～18時30分

場所：東京電機大学北千住キャンパス 1号館 100周年ホール

対象：学部3年生、大学院1年生 約50名（ブース訪問者 2名）

実施内容：GKP未来会の紹介、下水道の役割・各職種の紹介

参加団体：極東技エコンサルタント、水道産業新聞社、

東亜グラウト工業、メタウォーター



授業では知れない下水道界の魅力を発信しました！

GKP下水道を未来につなげる会 in長崎大学（2019年12月17日）

GKP下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、令和元年12月17日に長崎大学大学院工学研究科にて鈴木誠二准教授のご協力を得て出張講座を行いました。長崎大学の学生約15名に向けて、下水道事業の理解を深めていただくため下水道事業にかかわる団体職員や民間職員が業務紹介などを行いました。

【実施概要】

講座名：「社会環境デザイン工学コース」内での下水道事業の紹介

日時：2019年12月17日（火）

12時50分～14時20分（下水道業務紹介）

14時45分～16時00分（座談会）

実施内容：①GKP未来会について（GKP未来会事務局）

②水の世界に触れて（水の天使 西尾菜々美さま）

③じゅんかん育ち（佐賀市さま）

④下水道界のトピックス（佐賀市 見正さま）

⑤クローズトーク（GKP運営企画委員 栗原さま）

参加団体：佐賀市、長崎市、福岡市、日之出水道機器、前澤工業、西原環境、日立造船、日水コン、極東技工コンサルタント、日本水工設計、メタウォーター



水の天使によるご講演



下水道事業紹介



座談会の様子



終了後の全体集合写真

木更津高専×GKP未来会“水ビジネスと下水道”ワークショップ (令和元年12月19日)

下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、令和元年12月19日に木更津工業高等専門学校と連携しイベントを開催しました。今年で5回目の開催となった今回は新たな試みとして、川崎市の協力のもと、渋川雨水貯留管、羽田連絡道路、入江崎水処理センターの施設見学を行い、下水道を含め土木施設の役割やスケール感を実感して頂きました。

〔実施概要〕

イベント名：木更津高専×GKP未来会“水ビジネスと下水道”ワークショップ

日時：2019年12月19日（木） 9時00分～17時00分

場所：川崎市内（渋川雨水貯留管、羽田連絡道路、入江崎水処理センター）

対象：木更津工業高等専門学校 環境都市工学科4年生41名

実施内容：GKP未来会の紹介、上記施設見学

参加者：川崎市、日水コン、前澤工業、メタウォーター



▲羽田連絡道路



▲渋川雨水貯留管



▲入江崎水処理センター



▲集合写真

下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、令和2年1月10日に日大理工学部土木工学科の齋藤教授と連携しイベントを開催しました。今年で2回目の今回は齋藤教授のご提案により、新たな試みとして「学生の就職に関する意識調査」について学生より発表をしていただきました。未来会としては学生の思いを知る良い機会となりました。その後、グループに分かれて業種ごとにお仕事紹介を行い、下水道業界には様々な職種があることを知っていただきました。

イベント名：日大理工学部×GKP未来会

日時：2020年1月10日（金） 14時30分～16時00分

場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス1号館

対象：日本大学理工学部土木工学科 3年生15名

実施内容：学生による「学生の就職に関する意識調査」発表、GKP未来会の紹介、お仕事紹介

参加者：国土交通省、日本下水道事業団、NJS、極東技エコンサルタント、

東亜グラウト工業、前澤工業、メタウォーター、水道産業新聞社、日本水道新聞社

実際に下水道業界で働いている方々から貴重なお話を聞くことができ、大変有意義な機会となった。今回参加した学生が、1人でも多く下水道業界に進んでくれたらうれしい。



▲学生さんによる発表



▲下水道業界のお仕事説明



▲齋藤教授あいさつ



▲お仕事紹介（グループディスカッション）



▲集合写真

GKP下水道を未来につなげる会 in京都大学（2020年1月14日）

GKP下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、令和2年1月14日に京都大学下水道工学講座にて出前講座を行いました。田中宏明教授の全面協力を頂き、京都大学での同イベントは4回目の開催となりました。

大学3回生50名が参加し、下水資源はなぜ広がらないのかについてグループワークを行い、学生同士で活発な議論が行われていました。

〔実施概要〕

講座名：下水道工学特別演習内での下水道事業及び業界の紹介

日時：2020年1月14日（火） 8時45分～10時15分

場所：京都大学 吉田キャンパス 総合研究4号館共通3

対象：京都大学工学部3回生 50名

実施内容：GKP未来会の紹介、下水道の役割・職種の紹介事例紹介（堺市・大阪市の下水再生水、神戸市の下水汚泥の取組）、グループワーク、発表

参加団体：京都市、堺市、メタウォーター、西原環境、東亜グラウト工業、水ingエンジニアリング、神鋼環境ソリューション、前澤工業、JFEエンジニアリング、日水コン、日本水工設計、極東技エコンサルタント、日本水道新聞社、水道産業新聞社



▲社会人としての視点も投げながら



▲意見はたくさんある方がいいよ



▲チームの意見をどうまとめるか、熱が入る！



（田中教授の講評）

学生から活発に意見が出て非常に有意義なものだったと思う。日本は石炭利用が主となり下水熱利用などに後ろ向きであるが、ヨーロッパ、アメリカでは再生水、熱エネルギーの利用促進、下水再生水の飲用水化も進めている。このテーマを考える上で、国内だけでなく、海外の事例も積極的に情報収集する意識を持ってほしい。

下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、令和2年1月24日に日大生産工学部土木工学科で出前授業を行いました。森田弘昭教授にご依頼頂き、日大生産工学部では3回目の開催となりました。今回は学生に対してイベント前にアンケートを依頼し、いま知りたいことを認識したうえで班別コミュニケーションを行いました。国・コンサル・メーカーの立場から下水道業界の役割、仕事内容を知っていただきました。

【実施概要】

日時：2020年1月24日（金） 16時20分～18時00分

場所：日本大学津田沼キャンパス37号館405教室

対象：日本大学生産工学部土木工学科 3年生、大学院1年生 35名

実施内容：GKP未来会の紹介、下水道の役割・職種の紹介、班別コミュニケーション

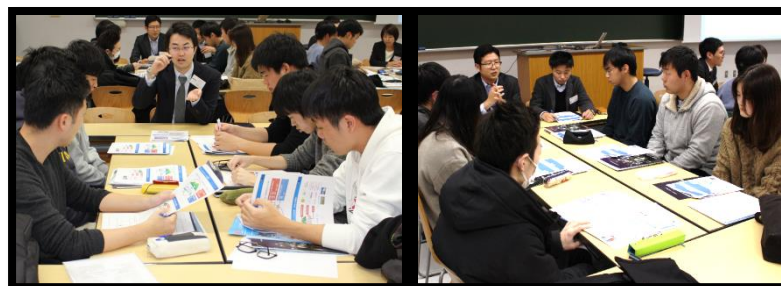
参加者：国総研、NJS、東亜グラウト工業、メタウォーター、前澤工業、日本水工設計、水道産業新聞社、日本水道新聞社

（森田教授の講評）

実際に社会で働く人たちの声は参考になると思うし、下水道の役割が理解できたと思う。これからの就職活動に役立ててほしい。



▲進行の様子



▲▼班別コミュニケーション



▲未来会の紹介



【未来会としての所感】

- これからの就職活動を見据えて、学生が真剣な姿勢で下水道業界に関する話を聞いてくれた。
 - 学生の就職活動への取り組みが年々早期化している。すでに方向性が固まっている学生が多い印象を受けた。より早い時期（夏ごろまで）に下水道業界への理解と興味を深めてもらうための活動をする必要があると感じた。
- ※採用内定が決まっている学生も1～2割いた

G K P 未来会×大阪工業大学（令和2年2月7日）

令和2年2月7日に大阪工業大学にてG K P 未来会の活動を行いました。大阪工業大学での活動は2回目となりますが、今回も古崎康哲准教授のご協力のもと、環境工学科3回生の講義「環境施設設計」の時間をお借りして実施しました。G K P 未来会からは下水道業界の仕事内容や役割に加え、関西圏での下水資源を活用した地域貢献の事例を紹介しました。これを受け、学生の皆さんには下水資源を活用した地域貢献の新たな方法を未来会メンバーと一緒に考えてもらいました。ホワイトボードで考えをまとめ、自由な意見を発表することで下水道への理解と関心を深めてもらいました。

【実施概要】

イベント名：GKP未来会×大阪工業大学

日時：2020年2月7日（金） 13時30分～15時10分（100分）

場所：大阪工業大学 8号館4階ラーニングコモンズ

対象：大阪工業大学工学部環境システム工学科3年生 28名

実施内容：GKP未来会の紹介、下水道業界の紹介

グループワーク：「地域活性化のために下水道はどう貢献できるか」

参加団体：滋賀県、大阪市、神戸市、堺市、クリアウォーター-OSAKA(株)、メタウォーター(株)、(株)西原環境、東亜グラウト(株)、水ingエンジニアリング(株)、(株)神鋼環境ソリューション、(株)日水コン、日本水工設計(株)、(株)極東技エコンサルタント、(株)日本水道新聞社、(株)水道産業新聞社



▲未来会・下水道業界の紹介



▲事例紹介



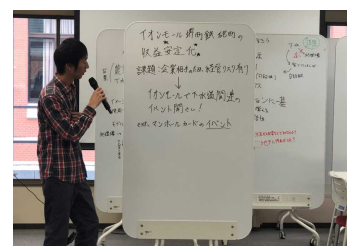
▲グループワーク①



▲グループワーク②



▲グループワーク発表①



▲グループワーク発表②

（古崎准教授の講評）

下水資源の活用の現状や可能性を存分に学生達に伝えて頂いたことで、下水道業界への興味と理解が深まったと思います。グループワークについても、自身の研究につながるような意見が出てきたり、とても有意義な講義になりました。就職活動を控える学生にとっても、貴重な時間を過ごせたと思います。

東京都市大学（横浜キャンパス）「業界説明会」（令和2年2月18日）



GKP未来会

下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、令和2年2月18日に東京都市大学横浜キャンパスにおいて、業界説明会に参加しました。本説明会には16社参加しており、各社3分程の自社紹介後、学生が興味のある企業の教室にそれぞれ移動し、個別講話を行う形式でした。下水道の役割、ポテンシャル、下水道への携わり方は多岐に渡ることを知っていただき、下水道業界の魅力を知っていただく良い機会となった。

〔実施概要〕

イベント名：東京都市大学（横浜キャンパス）「業界説明会」

日時：2020年2月18日（火） 12時15分～17時00分

場所：東京都市大学横浜キャンパス3号館2階

対象：環境学部・メディア情報学部 3年生、環境情報学研究科 大学院1年生、1～2年生 約60名（来場7名）

実施内容：GKP未来会の紹介、下水道の役割紹介、お仕事紹介

参加者：横浜市、極東技エコンサルタント、前澤工業、東亜グラウト工業、メタウォーター、水道産業新聞社



▲GKP未来会の紹介

（学生の声）

- ・下水道のイメージが好転した
- ・各企業の携わり方を知り、就活の幅が広がった

（学生の声）

- ・GKP未来会のスタンスがおもしろいと感じた
- ・GKP未来会自体の活動内容をもっと知りたいと思った



▲下水道の役割紹介、学生の様子



▲各職種のお仕事紹介中▼

